

平成23年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	産業物流高度化の推進に必要な経費		担当部局	国土交通省		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度(単年度)		担当課室	港湾局計画課企画室		室長 下司 弘之	
会計区分	一般会計		施策名	20 海上物流基盤の強化等総合的な物流体系整備の推進、みなとの振興、安定的な国際海上輸送の確保を推進			
根拠法令 (具体的な条項も記載)			関係する計画、通知等				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	世界的な資源獲得競争や一括大量輸送に向けた船舶の大型化が進展する中、企業間の連携や大型輸送船の共同配船等による輸送の効率化を図る社会実験を行うことにより、ターミナルコストや船舶の入出港コストの低減を促し、臨海部産業物流の高度化を推進する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	鉄鉱石、石炭の2品目について、拠点港湾に立地する企業と共同して、大型船での一括大量輸送による効率的な物流を行うための社会実験を実施し、その効果を検証するとともに、各品目について、拠点港湾のターミナルの機能、能力、施設配置等の計画、複数港連携のための輸送計画等を示す基本計画を策定する。具体的には、鉄鉱石については、木更津港及び鹿島港を対象として、石炭については、徳山下松港及び宇部港を対象として社会実験を行い、効果を検証した。						
実施方法	直接実施	業務委託等	補助	貸付	その他		
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求
		補正予算	0	0	100	0	0
		繰越し等	0	0	0	0	0
		計	0	1	100	0	0
	執行額				82		
	執行率(%)				81.7%		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (24年度)
	国際海上コンテナ貨物等輸送コスト低減率		成果実績	H19年度比 0.5%減	H19年度比 1.2%減		H19年度比 5%減
			達成度	%	10	24	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	大型船による共同輸送実験において寄港した港湾数		活動実績 (当初見込み)			4 (4)	()
単位当たりコスト	20(百万円/港)		算出根拠	全体事業費(A:82百万円)を、本事業において船舶が寄港した港湾の数(B:4港)で割ったもの = A / B			
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	計						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況		広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	本実験は、バルク貨物の輸送効率化のために必要な取り組みであり、政府の「新成長戦略」や「国土交通省成長戦略」にも位置づけられている重要な施策。 本実験の成果として、今後バルク貨物の輸送コストが低下すれば、鉄鉱石や石炭等の原材料価格が抑制され、製品の価格が安くなることから、その効果は広く国民に裨益する。
		国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
		不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・費目・使途		支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	支出先の選定にあたっては、企画競争方式で実施しており、広く公募を行った上で選定を行った。 実際の事業実施にあたっては、既存の施設や解析手法等を極力利用するなどして社会実験費用の削減に努めた。
		単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
活動実績・成果実績		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	本事業の結果は、国際バルク戦略港湾の選定に活用されるとともに、今後の港湾政策の展開に活用される。
		他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
		適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
点検結果		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
<p>本実験は、バルク貨物の輸送効率化のために必要な取り組みであり、政府の「新成長戦略」や「国土交通省成長戦略」にも位置づけられている重要な施策。物流構造の改善には、荷主企業の連携が不可欠であり、そのための課題の抽出や検証を行うために本事業は有効な方法。</p> <p>事業の実施にあたっては、社会実験の実施者選定の際に競争性を確保するとともに、実施にあたっては既存の施設や解析手法を利用するなどコスト削減に取り組んだ結果、必要額を2割程度削減した。</p> <p>本事業の結果として、共同輸送など荷主企業の連携にあたって必要となる調整内容の抽出や解決に向けた方策が明確になっただけでなく、各港湾における大型船舶入出港に当たっての課題やその解決についても把握されるなど、大きな成果が得られた。</p> <p>なお、本成果は、「国際バルク戦略港湾」の選定や今後の港湾施策の展開に活用される。</p>			
<p align="center">予算監視・効率化チームの所見</p>			
廃止		事業目的の達成状況から、改めて予算措置を講ずる必要性はないと認められるため廃止とする。	
<p align="center">上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)</p>			
<p align="center">補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)</p>			

国土交通省
82百万円

〔全体計画の企画立案・進捗管理
事業全体の総合調整〕



A. 地方整備局 2機関
82百万円

〔調査の企画立案・進捗管理
調査実施に係る調整〕



〔企画競争〕

B. 民間企業 2社
82百万円

〔大型船による協同輸送実験の実施
実験結果の解析、検証〕

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する)(単
位:百万円)

A.中国地方整備局			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
調査費	徳山下松港及び宇部港における事業の企画立案・進捗管理、事業実施に係る調整	60			
計		60	計		0
B.宇部興産(株)			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
調査費	徳山下松港及び宇部港における大型船による共同輸送実験の実施、実験結果の解析、検証	60			
計		60	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	中国地方整備局	徳山下松港及び宇部港における事業の企画立案・進捗管理、事業実施に係る調整	60	-	-
2	関東地方整備局	木更津港及び鹿島港における事業の企画立案・進捗管理、事業実施に係る調整	22	-	-
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	宇部興産(株)	徳山下松港及び宇部港における大型船による共同輸送実験の実施、実験結果の解析、検証	60	1	100%
2	住友金属工業(株)	木更津港及び鹿島港における大型船による共同輸送実験の実施、実験結果の解析、検証	22	1	96%
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					